

管理運営状況等評価票

| | | | | | |
|-------|-----------------------|-------|-----------------|--------------|--|
| 施設名 | 大館能代空港周辺ふれあい緑地 | | | | |
| 指定管理者 | 株式会社 友愛ビルサービス | | | | |
| 作成者 | 播磨 美弘 / 若松 純子 | 作成日 | 令和 2 年 6 月 26 日 | | |
| 確認者 | 建設部 港湾空港課 調整・クルーズ・空港班 | | | | |
| 職氏名 | 主査 | 齊藤 真弓 | TEL | 018-860-2541 | |

1 施設の概要

| | | | | | | |
|------------------|--|----------|----------------------------------|----------|--------|----------|
| 設置年 | 平成 11 年 | 営業期間・時間 | 1月4日～12月28日(毎週水曜日を除く) 9:00～19:00 | | | |
| 設置目的 | 大館能代空港周辺の緑地の利用増進を図り、もってゆとりのある県民生活の実現に寄与するため。 | | | | | |
| 指定管理業務の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・使用の許可、取消等の業務 ・維持管理、運営に関する業務 ・利用促進に関する業務 | | | | | |
| 自主事業の実施状況 | ①利用者要望に応じた時間外開園業務、②学童のクロカンスキー利用を考慮し、冬期間の休園日変更、③物販企画 | | | | | |
| 直近3年の年間利用者数 | H29 | 48,358 人 | H30 | 53,090 人 | R元 | 29,886 人 |
| 直近3年の年間料金収入 | H29 | 建設部 港 千円 | H30 | 329 千円 | R元 | 294 千円 |
| 直近5年の収支決算(単位:千円) | H27 | H28 | H29 | H30 | R元 | |
| 収入計 | 15,395 | 14,527 | 14,297 | 14,170 | 14,033 | |
| (内訳)利用料収入 | 407 | 398 | 390 | 329 | 294 | |
| 指定管理料 | 14,400 | 13,536 | 13,536 | 13,536 | 13,536 | |
| その他収入 | 588 | 593 | 371 | 305 | 203 | |
| 支出計 | 14,257 | 12,256 | 11,991 | 12,941 | 12,232 | |
| (内訳)人件費 | 5,123 | 4,820 | 4,564 | 5,261 | 5,521 | |
| 人件費以外 | 9,134 | 7,436 | 7,427 | 7,680 | 6,711 | |
| 差引 | 1,138 | 2,271 | 2,306 | 1,229 | 1,801 | |

2 観点ごとの評価

| | | | | | |
|------------------|---|-------|---|----------|-------------------|
| (観点 I) 利用目標の達成状況 | | | | | |
| 利用目標指標名 | 園内利用者数 | 定義 | 利用者 | | |
| | H30 | | R元 | R元-H30 | R2 |
| 目 標 | 48000 | | 48000 | 0 | 37,500 |
| 実 績 | 53,090 | | 29,886 | ▲ 23,204 | |
| 達 成 率 | 110.6% | | 62.3% | | |
| 実績等の増減原因 | 利用者数 | 56.3% | <ul style="list-style-type: none"> ・ホールの利用者カウント方法について見直したため(芝生帯等の利用数との重複を解消) ・利便性の良い鷹巣駅周辺の施設への流動 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い貸室のキャンセルが2～3月に発生 ・雪不足により冬期間のクロカンスキーコースがほぼ使用できず利用者が極端に減少 | | |
| | 料金収入 | 89.4% | <ul style="list-style-type: none"> ・冬期クロカンスキー教室及び各種大会による貸室利用が減少したため | | |
| 令和2年度利用目標設定の考え方 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止のため、既にイベントがキャンセルとなっている状況であるが、過去3年間の利用者数の平均値を採用(ホールは令和元年度の利用者数を参考に年間3千人を目標に設定) | | | | 指定管理者 評価欄 C |

○「利用目標設定の考え方」には、目標設定の参考にした指標(過去の伸び率や前年度数値、類似施設数値等)を具体的に記載すること。

○「評価欄」には、目標値に対する達成率について次の基準により判定した評価を記載すること。

A: 100%以上 B: 80%以上100%未満 C: 80%未満

| (観点Ⅱ)利用者満足度の状況 | | | | |
|------------------|--|------|------|-------------------|
| 利用者満足度の状況 | H29 | H30 | R元 | R元-H30 |
| | 77.7 | 50.0 | 84.0 | 34 |
| 利用者アンケート調査結果の活用例 | 総合評価では概ね満足の評価を得ており今後も継続維持に努めていく。また、インターネットが普及する昨今では口コミサイトに様々な意見が掲載されており、その内容も確認していきたい。 | | | 指定管理者 評価欄 A |

○「評価欄」には、満足度について次の基準により判定した評価を記載すること。

A:80%以上 B:60%以上80%未満 C:60%未満

| 評価項目 | 指定管理者 1次評価欄 | 所管課 2次評価欄 |
|---|----------------|--------------|
| (観点Ⅲ)管理運営体制の状況 | A | A |
| ①有資格者を含む職員配置状況は適切か | 10 | 10 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●事業計画書等に照らして適切な職員配置になっている。(5点) ●受付担当者が不在にならないなど利用者に迷惑がかからない配置になっている。(5点) | | |
| ②職員の勤務実績は適切か | 10 | 10 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●事業計画書等に照らして適切な勤務実績になっている。(5点) ●各職員が、他の職員の業務状況を把握し手伝えるような工夫をしている。(5点) | | |
| ③職員の処遇等は適切か | 10 | 10 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●職員の処遇が労働法規に反していない。(5点) ●職員に対する何らかの福利厚生事業が行われている。(5点) | | |
| ④施設・設備は適切に管理されているか | 10 | 10 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●事業計画書等の日常保守管理、定期点検、清掃、警備等の計画に照らして適切に管理されている。(5点) ●施設・設備に目に見える損傷、汚れ等がない。(5点) | | |
| ⑤備品は適切に管理されているか | 10 | 10 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●備品台帳に記載されている備品が全て揃っている。(5点) ●備品に目に見える損傷等がない。(5点) | | |
| ⑥個人情報の保護に対する体制の構築が成されているか | 10 | 10 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●「個人情報取扱特記事項」が全て遵守されている。(5点) ●職員に対し個人情報保護に関する理解の向上を図っている。(5点) | | |
| ⑦安全で安心できる環境を確保しているか | 10 | 10 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●事故防止マニュアル等及び緊急時連絡体制を整備している。(5点) ●職員に対し、研修の実施等の事故防止に関する理解の向上を図っている。(5点) | | |
| ⑧経費節減のための努力を行い、成果を上げているか | 10 | 10 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●前年度よりも事務経費を節減する取り組みをしている。(5点) ●実際に経費節減の成果を挙げている。(5点) | | |
| ⑨計画的な修繕等がなされているか | 10 | 10 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●施設・設備の修繕に関する年度計画が存在する。(5点) ●利用者が常に安全に利用できる状態に保たれている。(5点) | | |
| ⑩健全な経営がなされているか | 10 | 10 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●経理書類が適切に作成され、通帳や印鑑などが適切に管理されている。(5点) ●選定時の各財務指標と比較し、特段の経営の悪化が見られない。(5点) | | |

○各評価項目の評価欄には、合致する設問の合計点を記載すること。

○最上段の評価欄には、評価項目ごとの点数の平均値について次の基準により判定した評価を記載すること。ただし、0点の評価項目がある場合は、平均値が8点以上であったときでもB判定とすること。

A:8点以上 B:5点以上8点未満 C:5点未満

| 評価項目 | | 指定管理者 1次評価欄 | 所管課 2次評価欄 |
|---|-----------------|----------------|---|
| (観点Ⅳ)サービス向上に向けた取組の実施状況 | | A | A |
| ①開館日、開館時間等は守られているか | | 10 | 10 |
| ②事業計画に掲げられた業務は適正に実施されているか ●仕様書又は事業計画書等に照らして適正に業務が実施されている。(10点) | | 10 | 10 |
| ③施設の使用許可、料金減免の手続、説明は適正か ●料金減免の説明が分かりやすく掲示されている。(5点) ●仕様書又は事業計画書等に照らして適正に使用許可されている。(5点) | | 10 | 10 |
| ④職員の接客マナーは適切か ●全職員が名札を着用し適切な服装をしている。(5点) ●施設名と対応者名を名乗った電話対応など丁寧な挨拶や対応がなされている。(5点) | | 10 | 10 |
| ⑤利用者が利用しやすい窓口案内を実施しているか ●電話やWebサイト等による利用相談がなされている。(5点) ●来客への対応に関する研修がなされている。(5点) | | 10 | 10 |
| ⑥全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう情報発信を行っているか ●分かりやすいパンフレットの備え付けや、見学希望への対応などに取り組んでいる。(5点) ●指定管理者名称、指定期間、業務概要等を利用者に周知している。(5点) | | 10 | 10 |
| ⑦潜在的な利用者へ向けた広報を実施しているか ●広報誌発行、県・市町村広報への登載、Webサイト作成、チラシ配布等の広報を実施している。(10点) | | 10 | 10 |
| ⑧満足度調査の結果、課題がある場合に対応策を講じているか ●満足度調査から課題を抽出して対応策を講じている。(5点) ●満足度調査結果及び課題への対応策を公表している。(5点) | | 10 | 10 |
| ⑨利用者が意見や苦情を述べやすい環境を構築しているか ●意見・苦情の提出先に関する情報を公表している。(5点) ●意見・苦情の内容を記録し、対応策を実施している。(5点) | | 10 | 10 |
| ⑩意見・苦情等を受けて迅速に対応できる体制を構築しているか ●苦情の受付・解決方法や担当者等を明確にし職員に周知している。(5点) ●意見・苦情への対応策の実施・公表をしている。(5点) | | 10 | 10 |
| (参考) | サービス改善のための具体的取組 | R元実績 | ①学校関係のスキー部活動へ配慮した冬期休園日変更 ②利用者要望による時間外開園対応 ③休園日・時間外の電話転送受付対応 |
| | | R2計画 | 引き続き前年度と同様の取組を実施するほか、Facebookを活用し、クロスカウンターコース状況や利用状況等の情報提供に努めていく。 |
| | 令和2年度取組計画設定の考え方 | | 令和2年度業務計画書に基づく |

○各評価項目の評価欄には、合致する設問の合計点を記載すること。

○最上段の評価欄には、評価項目ごとの点数の平均値について次の基準により判定した評価を記載すること。ただし、0点の評価項目がある場合は、平均値が8点以上であったときでもB判定とすること。

A: 8点以上 B: 5点以上8点未満 C: 5点未満

○「取組計画設定の考え方」には、具体的理由(例えば、利用者からどのような要望があったのか等)を記載すること。また、各施設で実施している利用者から意見を聴取するための取組(例えば、投函箱の設置や顧客満足度調査等)については全て記載すること。

3 総合評価

| | |
|----------------|--|
| 指定管理者 1次評価欄 | (講評欄) 極端な雪不足のため、指定管理14年間で初めて圧雪車が未稼働でウインターシーズンを終了し、自動車燃料費、除雪費の支出が抑えられた一方で、クロスカントリーコース利用者が大幅に減少した。加えて、コロナウイルスの感染拡大防止のため、貸室等のキャンセルが発生したことから、利用者数は目標を下回る結果となった。 |
| C | (講評欄) 当該施設は、例年、冬期間にクロスカントリーコース等の利用者が多く訪れているが、雪不足やコロナウイルス感染拡大等の影響を受け、利用者が大幅に減少する結果となった。利用者確保のため地域住民に対して改めて施設の内容や利用方法等について周知していくほか、今後の管理運営の参考とするため利用者へのアンケート調査においてはより多くの意見を把握できるよう、その方法について工夫していく必要がある。 |
| 所管課 2次評価欄 | (講評欄) 当該施設は、例年、冬期間にクロスカントリーコース等の利用者が多く訪れているが、雪不足やコロナウイルス感染拡大等の影響を受け、利用者が大幅に減少する結果となった。利用者確保のため地域住民に対して改めて施設の内容や利用方法等について周知していくほか、今後の管理運営の参考とするため利用者へのアンケート調査においてはより多くの意見を把握できるよう、その方法について工夫していく必要がある。 |
| C | |

○総合評価は、「利用目標の達成状況」、「利用者満足度の状況」、「管理運営体制の状況」、「サービス向上に向けた取組の実施状況」の4つの観点の結果を用い次の基準により記載すること。「利用目標の達成状況」、「利用者満足度の状況」については、指定管理者評価を所管課2次評価として判定すること。

- A: 「C」判定がなく、2つ以上の観点で「A」判定の場合
- B: A、C以外の場合
- C: 各観点のいずれかの評価結果が「C」判定の場合